

科研費 新規・継続90件内定 17年度

独立行政法人日本学術振興会は4月、2017年度(科学的研究費助成事業)の採択されたのは25件だった。専修大学の採択件数は、新規と継続を合わせて90件、1億1390万円(直接経費のみ)となった。このうち新規採択されたのは25件だった。科研費は、研究者の自費に、専修大学の採択費、

由な発想に基づく研究を助成する仕組みの一つで、基礎から応用まであらゆる学術研究が対象となる。研究者からの申請に基づき、専門分野が近い複数の研究者が審査、

独自の・先駆的な研究に対し助成を行う。2016年度は全国の研究機関から約10万件の応募があり、申請に対する新規採択率は26.4%。専修大学の新規採択率は40.3%で、新規応募50件以上の研究機関の中で11位、私大では3位だった。

科研費の大部分を占める研究種目は「基礎研究」で、期間や研究費によって四つに区分される。日高理事長ら参列 独ハレ大創立200年祝う

国際交流協定校であるドイツのマルティン・ルター大学ハレ・ウィットテンベルク(ウド・シュートラー学長)の創立200年を祝う記念式典が6月21日、ハレ市の大学キャンパスで盛大に行われた。本学から日高義博理事長、松木健一専務理事らが参列し節目を祝った。記念セレモニーとして講演会や学生による演奏会も開催された。

同大学は1817年、ウィッテンベルク大学(1502年創立)とハレ大学(1694年創立)の合併により設立された。当初はハレ・ウィッテンベルク大学と称されたが、ウィッテンベルク市を本拠地として宗教改革を行ったマルティン・ルターにちなんで現在の大学名に改名された。法学部、経済学部、哲学部など18学部を擁するドイツ屈指の総合大学で、学生数は約2万3000人。本学とは1995年に国際交流協定を結び、学生間、教員間の相互交流や共同研究が活発に行われている。

専大松戸高生が大学の授業体験 専大松戸高校の生徒を対象とした「松戸フェスティバル2017」が6月10日、生田キャンパスで開催された。この企画は同高と専修大学の連携事業の一環で、専修大学に対する理解を深める機会として07年にスタート。今年も文系及び理系クラスの地理学系・情報系学部に進学希望の2年生208人が参加した。一部全17学科と教職課程の体験授業と、付属高校出身の在学生の会「Hi-Yo-Cの会」による大学理解企画があった。

各学部の教員による体験授業では、生徒たちが興味のある2講義を受講。経済学部経済学科と人間科学部社会学科の講義を受講した男子生徒は「学部学科の特色や学ぶ内容などを聞くことができて、進路選択の参考になった」と話した。

ASEAN市場に進出した中小企業の事例を紹介。また、現地事情への対応策を解説する。▽日時7月29日(土)13時17分▽会場11号棟131教室▽講師11号棟明商学部教授、三進ベトナムJSC日本人代表新妻東一氏ほか

氏名	所属	職名	研究課題名
王 伸子	文学部	教授	「ボイスサンプル」を応用した日本語音声指導の研究と開発
荻原幸子	文学部	教授	公共図書館運営に関する住民意思の形成過程を基軸とした図書館協議会に関する研究
斎藤達哉	文学部	教授	1940-1950年代の日本語政策史研究の精緻化に関する緊急調査
三浦 弘	文学部	教授	イングランド北部英語の社会音声学的現状調査
高島裕之	文学部	准教授	北欧におけるアジア産陶磁器の基礎的理解
廣川和花	文学部	准教授	医療の「近代化」と地域社会:近世・近代日本における地域医療の連続と断絶
佐藤慶一	ネットワーク情報学部	准教授	想定地震災害後の仮住まい対策マイクロシミュレーションの拡張開発と政策提案の検討
嶋根克己	人間科学部	教授	葬儀の脱共同体化に関する比較社会学的研究
棟居快行	法務研究科	教授	プライバシー概念の進化に対応した保護法制のあり方
高木 侃	大学史資料課	-	明治・大正期の私立法政教育機関における実務家教員の基礎的研究
若手研究A			39歳以下の若手研究者が1人で行う研究。期間2~4年、500万円以上3000万円以下
岡田謙介	人間科学部	准教授	ベイズモデリングによる心理学研究の再現性の再検討
若手研究B			39歳以下の若手研究者が1人で行う研究。期間2~4年、500万円以下
八島明朝	商学部	准教授	ブランド・スイッチ要因とロイヤルティ要因の包括的研究
高野祐一	ネットワーク情報学部	准教授	混合整数最適化を用いた制約付き変数選択による高精度パラメータ推定

女性選手の体調改善へ スポーツ研究所プロジェクト



昨年行われたパラリンピック競技の女性アスリートコンディショニングセミナー

スポーツ研究所(佐竹弘靖所長)の研究「女性アスリートコンディショニングプログラム」の開発と実践活用(研究実施責任者・相澤勝治准教授)が、日本スポーツ振興センター・ハイパフォーマンスセンター(東京都)の「Total Conditioning Research Project」事業に採択された。

研究期間は17年から20年までの4年間の予定。研究を通じて女性アスリートへのスポーツ医・科学知見の発信やサポート活動を進めていく。

歴代学長の肖像画が飾られたホールで。左から日高理事長、本学と交流のあるハレ大学のゲジネ・フォリヤンティエロ教授、シュトレーター学長

是永隆文経営学部准教授(中央)はグループワーク形式の体験授業を行った

公開講座情報 大学院商学研究科/東京信用保証協会第14回共同公開講座「中小企業のASEAN進出と人材育成」

ASEAN市場に進出した中小企業の事例を紹介。また、現地事情への対応策を解説する。▽日時7月29日(土)13時17分▽会場11号棟131教室▽講師11号棟明商学部教授、三進ベトナムJSC日本人代表新妻東一氏ほか

2017年度新規採択研究

氏名	所属	職名	研究課題名
基盤研究B 1人または複数の研究者が行う独自の・先駆的な研究。期間3~5年、500万円以上2000万円以下			
高岡貞夫	文学部	教授	高山池沼を核とする生物多様性の形成とジオダイバーシティ
山本 充	文学部	教授	ヨーロッパにおけるモビリティの増大に伴う農村人口変動と新たなルーラリティの創出
相澤勝治	文学部	准教授	メカニカルストレスを介した筋局所アンドロゲンの筋萎縮予防メカニズムの解明
望月俊男	ネットワーク情報学部	准教授	協調的議論の実現にむけた21世紀型スキルとしての認識主体性を育む学習環境の開発
基盤研究C 1人または複数の研究者が行う独自の・先駆的な研究。期間3~5年、500万円以下			
飯田義明	経済学部	教授	プロサッカー選手を目指す中学生のキャリア形成プロセスに関する研究
菅原 光	法学部	教授	新しい明六社研究-私塾・結社における伝統と近代
田上麻衣子	法学部	教授	伝説の多面性に即した保護手法の総合的研究
渡邊一弘	法学部	教授	少年司法における調査・鑑別と処遇との連携状況についての分析
西山貴弘	経営学部	准教授	多様な状況における多重検定方式の研究
池尾玲子	商学部	教授	現在時制の小説における話法
高橋 裕	商学部	教授	経営戦略策定支援のためのシステム・ダイナミクス応用に関する研究
井上幸孝	文学部	教授	スペインとメキシコにおける聖ヤコブ信仰の継続と変容の統合的分析

本研究では、スポーツ医・科学的諸問題に直面している女性アスリートのコンディショニングを改善

中国南開大で国際学術シンポ



法学部と国際交流組織間協定を結ぶ中国・南開大学法学院(天津市)で6月30日、国際学術シンポジウム「北東アジア法秩序の多元性と統合性について」が開催された。本学から白藤博行学部長ら5人が研究報告を行い、それを受けて日中の法制度について活発に意見を交わした。

国際シンポジウムは、昨秋に本学で開催したのちに続いて2回目。南開大学では初開催になる。本学の参加教員と演題は、▽白藤学部長「新たな規範的秩序の生成・発展と行政法学の課題」▽小川浩三教授「ローマ法からみた日本債権法改正の現状と課題」▽田邊宏康教授「日本における株式譲渡法制度の概要と問題点」▽岡田好史教授「サイバー犯罪に関する日本刑法の現状と課題」▽榎透教授「民間組織の『行政活動』と憲法」

各教授の講演に対し、南開大学の教員がコメント、大学院生らと交えて討論を行った。白藤学部長は「刺激的な最新の研究テーマについて、有意義な研究交流ができた。今後は若手研究者や学生も含めて学術研究、教育交流を深めていきたい」と語った。南開大学は中国の国家重点総合大学の一つで、同国内トップクラスの教育・研究レベルを誇る。本学法学部とは2013年7月に協定を結んだ。

武田徹著 日本ノンフィクション史 本書はノンフィクションを「物語るジャーナリズム」と定義する。その言葉が成立し、ノンフィクションの名で呼ばれる作品が生み出されるようになった歴史を、個々の作品とそれが作られた状況や思想的背景とともに詳しく論じた。日本の表裏を描き出し、ノンフィクションのゆくえと可能性をさぐる。戦中の従軍報告に始まり、戦後の社会派ルポル

担当は市民とメディア。著者(たけだ・とおる)は文学部教授。主なる担当は市民とメディア。